オール・ワン安全大会

点呼でリスク管理を タイヤの点検も学ぶ

【大阪】医薬品物流をメインとするオール・ワン（山本健雄社長、大阪市住之江区）は10月17日、本社事務所で安全大会を開催した。

午前は開会式に続いて、座学として特定社会保険労務士の石原清美氏（社労士事務所オフィスきよみ）による講義を聴講。石原氏は、改正貨物運送事業法など昨今の法改正の内容と対応方法などについて解説し、さらに法令順守の基本は点呼にあると指摘。「点呼はリスク管理の中核にあり、ロボット点呼などが普及しているが前点検の重要性について説明。「タイヤの点検や空気圧の測定は、必ずタイヤが冷えた状態で行うこと。また、亀裂や損傷がないか外側だけでなく内側や複輪間の確認も重要」などとポイントを伝えた。



石原氏の話に聞き入る参加者

また、是沢繁紀課長と古田春徳課長の進行でドライブレコーダー動画を用いてのKYTや事業継続力強化計画について話し合った。午後からは実技として、駐車場でテールゲートリフターの安全な操作やタイヤチェーンの装着について学んだ。

山本社長は今回の安全大会について、「社員には、自社のルールだけでなく業界全体のことを忘れないでほしい」と訴え、「ドライバーは会社の顔であり営業マンである。お客さんとのやり取りといった現場の声は会社にとっても大事な情報なので、点呼の際などに報告してほしい」とアドバイスした。

引き続き、日本ミシュランタイヤのシニアアカウントマネージャー・神田謙吾氏が運行前点検の重要性について話し合った。午後からは実技として、駐車場でテールゲートリフターの安全な操作やタイヤチェーンの装着について学んだ。

山本社長は今回の安全大会について、「社員には、自社のルールだけでなく業界全体のことを理解してもらいたいと思っていたので、これまでいろんな運送会社を見てこられた石原先生の話を聞くのは貴重な機会」との思いを話した。（中野秀一）